

市内中小事業者の支援策の拡充を

板倉真也(日本共産党)

(ア)木造住宅耐震化助成制度の補助率、額を引き上げるべき。
(イ)住宅リフォーム助成制度の創設に向けたスケジュールはどうなっているか。(ウ)賃金条項を含む公契約条例の早期制定に向けたスケジュールを明確にすべき。

と同等程度の自治体も複数あり、本市が特に少ないという状態には至っていない。(イ)具体的になっていない。理由は、実施事例が近隣市になく、一般リフォームについては都や国の交付金対象となっていないため。次期住宅マスタープランの見直しの際には、住宅政策全体の動向を踏まえつつ、住宅リフォームにつ



いての取組の方向について再整理させていただく考え。
総務部長 (ウ)公共工事と民間工事との契約や労働法制との整合性等、整理すべき課題もあり、かつ、賃金条項を規定した条例の制定は事業者、労働者、行政、市民に関わることから、慎重かつ丁寧な協議、検討が必要と考えている。現時点で条例の制定時期、スケジュール等については示す段階に至っていない。
■その他、「平代坂のガードレールに切れ目を多く」を要求しました。

障がい理解と差別解消の施策について

坂井えつ子(緑・市民自治)

(ア)庁内検討に入った(仮称)障害者差別解消条例について。条例案が議会に上程された際には、庁内検討前後の変化に着目していきたい。制定及び議会へ上程される時期は。(イ)福祉売店「りんくの店」閉店から1年半。代替場所の確保等の現状は。(ウ)市報こがねい音訳版、声の広報



「こだま」の今一度の周知を。
(エ)相模原の障がい者殺傷事件から1年余。先送りになっている市長見解はいつ出るのか。12月の障害者週間シンポジウムで述べたいか。
福祉保健部長 (ア)今年度中の制定を目指し、鋭意進めている。具体的なスケジュールを示すのは困難。(イ)製作品の販路拡大を

財政健全化への道④直下地震への備え

斎藤康夫(市民会議)

①どんなに素晴らしい政策や計画も財政の裏付けがなければ執行できない。財政健全化は市の最優先課題である。小金井市にとって財源の大きな柱は、市税収入を含め2本である。今回



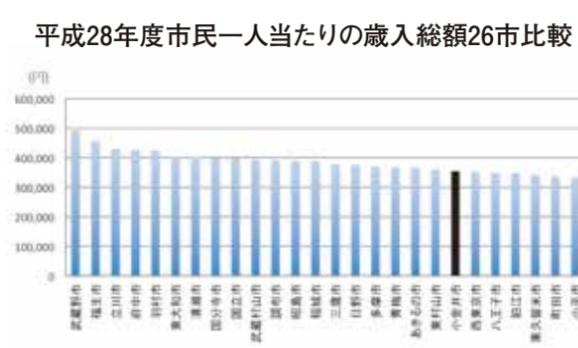
獲得のために知恵と工夫、努力と情熱を傾けるべきである。
企画財政部長 既存の事業を再編成することで補助対象とならないか検証を行う等、国や都の補助金を獲得するよう全庁挙げて取り組んでいるが、対象となる事業がなく、厳しい状況である。
②安全・安心のまちづくりを

実施年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
計画						
実施						
評価						

「公契約条例の制定」を明記した第三次行財政改革大綱



声の雑誌「こだま」は、対面朗読の会の協力のもと図書館が発行。小金井市内のタウン情報も収録されている。



庁舎の床面積増やさず図書館本館建て替えを

渡辺大三(情報公開)

①新市庁舎の床面積を現状と同程度に据え置けば、追加財源を投下しなくても、図書館本館は床面積を大幅に増やして建て替えることが可能になる。市長は決断すべきではないか。例えば、1階2階を図書館で、3階から上を庁舎でもいいと思う。庁舎建設等担当部長 庁舎の



床面積の削減は効果的ではあるが、床面積の縮減にこだわり過ぎる余り、市民が使いにくい庁舎であってはならない。
生涯学習部長 将来的に教育委員会として適切に検討し、整備方針を定めていく。
②大規模店舗閉店後の武蔵小金井駅北口のまちづくりは、まちづくり担当部長 北口は、

市制60周年の取組状況と投票率向上施策

村山ひでき(市議会民進党)

①来年10月1日に小金井市は市制施行60周年を迎える。(ア)多くの市民が参加できるメインイベントの取組状況は。(イ)来年に周年を迎える団体やイベントも多い。コラボレーションできる冠事業や補助金アップの検討を。(ウ)市井で活躍する市民こそ推薦して功労者表彰をすべき。(エ)名



誉市民を選定しないか。
企画財政部長 (ア)庁内にて検討中。(イ)調整を進める中で協議する。(エ)名誉市民条例に基づき選考委員会の設置等、準備を進めたい。
広報秘書課長 (ウ)功労者は市報等を通じて募集をする予定。
②投票率は民主主義の根幹。低投票率に危機感を持ち、投票率

市の羅針盤、長期ビジョンを早急に策定せよ

白井亨(こがね)

小金井市は、長期的なビジョンがないことよって、行き当たりばったりで非効率な行政運営が行われてきたと指摘してきた。公施設等の総合的な管理計画は定めたものの、具体的な施設計画の策定はこれからになる。おける改修等の個別最適と、市



の全体設計の中で小学校単位をコミュニティ区化する構想に基づいた学校施設の複合化という全体最適は、その調整に当たっての根拠が必要となる。来年度は、総合計画や都市計画、子育て、産業振興、総合戦略など、重要な計画の改訂に向けた準備に入るタイミングにある。来年度中に皆が共有できる目指すま

補償費が膨大で、建築費も高騰し、事業採算性が極めて厳しい。再開発に促われず、様々な観点での再検討が必要となる。
③JR中央線高架下のランブルングウォーク(歩道状通路)が保育園のところで切れている。前々から要望を繰り返しているが、全部つなげてほしい。
都市整備部長 市が独自に自らの費用で設置できるか、JRと意見交換している。
■その他、「インバウンド(訪日外国人客)対応の充実に向けて」について質問しました。